

# 行政視察報告書

参加議員	自民クラブ会派 小豆畑緑、花田明仁、長谷川章悦、中田靖人、澁谷洋子、柿崎孝治、関貴光
調査期間	令和7年6月30日（月）～令和7年7月2日（水）
調査先 及び 調査事項	① 宮城県東松島市、②宮城県仙台市 東日本大震災からの復興状況について ③ 宮城県富谷市 不登校特例校について

## 視察概要

■ 調査先 ①宮城県東松島市

■ 調査事項 東日本大震災からの復興状況について

■ 調査内容

〔調査期日〕 令和7年7月1日（火）

〔調査目的〕

- ・ 自主防災組織について
- ・ 防災訓練の開催状況
- ・ 海岸線の復興状況について

〔調査先対応者〕 総務部防災課

〔調査事項説明内容等〕

- ・ 東日本大震災からの教訓を踏まえ、課題と対策を確認した。
- ・ 東松島市業務継続計画に沿った対応のほか、防災備蓄倉庫の必要性、管理方法の工夫や支援物資の配給をいかにスムーズに行うかが重要であった。
- ・ また津波避難タワーでは、平時は地域住民の防災訓練や地域活動の場として利用し、災害時にはスピード感をもって行動できるようにしている等、東松島市の危機管理を学んだ。
- ・ 本市でも、防災備蓄倉庫の設置や津波避難タワーを検討する必要があるのではないか。

## 視 察 概 要

■ 調査先 ②宮城県仙台市

■ 調査事項 東日本大震災からの復興状況について

■ 調査内容

〔調査期日〕 令和7年7月1日（火）

〔調査目的〕 現地視察 震災遺構仙台市立荒浜小学校

〔調査先対応者〕 仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室

〔調査事項説明内容等〕

- ・震災遺構として保存されていることで、津波の怖さや命を守る行動などを再認識できる場であると感じた。また、屋上から荒浜地区全体を見渡すことで海との位置関係から被災前後の風景が確認できる。
- ・震災の教訓を次世代に繋げていくことが必要と感じた。
- ・本市でも、津波や避難の仕方など、改めて学ぶ必要があると考える。

## 視 察 概 要

■ 調査先 ③宮城県富谷市

■ 調査事項 不登校特例校について

■ 調査内容

〔調査期日〕 令和7年7月2日（水）

〔調査目的〕 富谷市立富谷中学校西成田教室について

〔調査先対応者〕 教育部学校教育課、西成田教室教諭

〔調査事項説明内容等〕

- ・ 東北初の不登校特例校である富谷市立富谷中学校西成田教室では、少人数での学びをもとに、教科担任による授業や、探究学習・自然体験、また家庭と教室との連携を取り入れた教育が行われていた。
- ・ 生徒一人一人の考え方を尊重する施策に深い学びを感じた。
- ・ 本市でも、総合的な学習の時間や人間性を育む学びに取り組んでおり、一層の進展を期待する。